

教員の養成の状況についての情報

教育職員免許法施行規則第 22 条の 6 に規定されている情報を下記の通り公開する。

第 1 号 教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画に関すること

■全学

神戸女学院大学は、永久標語である「愛神愛隣」の精神のもと、高い教養と専門的知識、そして広い視野と的確な判断力を持ち、自らが身を置いた事態や環境の中で、それぞれの使命を自覚し、地域社会や国際社会に貢献できるような女性の育成を教育理念としている。以上の理念に基づき、本学では、優れた女性教員の養成を目的として教職課程を設置しており、教職課程を履修する学生を対象に、学年別の教職課程オリエンテーション、介護等体験及び教育実習の事前指導、現職教員による講演会の実施など、教職全般にわたるきめ細かな指導を行っている。

▶文学部英文学科・国際学部英語学科

中一種免（英語）・高一種免（英語）

本学は 1875 年の学院創立当初より書き言葉だけでなく話し言葉としての英語教育に力を入れてきた。その伝統を踏まえ、現在、本学文学部英文学科および国際学部英語学科では、様々な場面で活かせる英語コミュニケーション能力と、生涯学び続けることへの意欲と自信につながる生きる力を身に着けることを目指した教育研究活動を行っている。教職課程履修者は、本学科の講義を通して英語に関する幅広い知識や専門性を、海外へのフィールドスタディでは主体性と協調性、コミュニケーション能力を、そして 3, 4 年生ゼミでは、英語 5,000words 以上の卒業論文作成を通して研究能力を、さらに、模擬授業も課される英語科教育法では、教案作成や授業観察・批評の演習におけるきめ細やかな指導の下、指導技術を修得している。以上の修得内容に基づき、英語科教職課程の設置趣旨は、生徒の英語という言葉やそれにまつわる文化に対する興味・関心を向上させることのできる中学校・高等学校英語科教員の養成にある。

▶文学部総合文化学科

中一種免（社会）・高一種免（地理歴史）・高一種免（公民）

中一種免（国語）・高一種免（国語）

本学文学部総合文化学科は、専門知識を追求すると同時に、専門外の隣接諸領域に関しても幅広い知識を高めることができる学びの形を提供している。専門科目は、教育学や国際関係、歴史、文化、文学に関する専攻科目群など、計 8 専攻科目群から成る。履修者たちは、教職課程履修と関連づけながら主専攻科目群として選んだ分野を深く学び、生徒の学びに対する興味・関心を向上させることのできる豊かな基礎知識を備えた専門性の高い中学校・高等学校教員を養成することを目指している。社会・地理歴史・公民または国語のいずれかを選択した教職課程履修者は、本学科の講義や演習を通してそれぞれに関する幅広い知識や専門性を修得し、卒業研究を通してそれぞれに関する研究方法を、さらに、教科教育法や教育実習などを通して指導技術を修得する。

▶音楽学部音楽学科

中一種免（音楽）・高一種免（音楽）

本学音楽学部音楽学科においては、音楽実技、音楽専門科目、音楽教育、音楽ビジネスを中心に教育研究活動を行っている。教職課程履修者は本学科の実技科目、講義、実習などを通して音楽に関する演奏法、表現法などを身に付け、さらに音楽科教育法、教育実習などを通し、指導技術を修得する。これらに基づき、音楽教職課程の設置趣旨は、生徒の音楽に対する興味、関心を向上させ、さらには音楽実技のレベル向上を図ることのできる中学校、高等学校音楽科教員の養成にある。

▶人間科学部環境・バイオサイエンス学科

中一種免（理科）・高一種免（理科）

本学人間科学部環境・バイオサイエンス学科では、女子学生を対象とした科学教育、とりわけ、環境科学と生命科学の二つの柱を中心とした教育研究活動を行っている。教職課程履修者は、本学科の講義や実習を通して科学に関する幅広い知識や専門性を、卒業研究を通して科学に関する研究方法を、さらに、理科教育法や教育実習などを通して指導技術を修得する。以上の修得内容に基づき、理科教職課程の設置趣旨は、生徒の理科に対する興味・関心を向上させることのできる中学校・高等学校理科科教員の養成にある。

▶文学研究科英文学専攻

中専免（英語）・高専免（英語）

本大学院文学研究科英文学専攻では、シェイクスピアの時代から現代にいたる英米の文学作品、英語学・言語学の基礎理論・方法論、グローバル理論、さらに通訳の理論と技術について専門的な教育研究活動を行っている。学部で既に中学校・高等学校一種免許を取得している大学院生は、2年間の大学院教育を通して、広い視野に立った豊かな学識や研究能力の修得、及び、高度な専門職業能力を養うことを目的に実践的な研究を進めている。以上の修得内容に基づき、英語科教職課程の設置趣旨は、生徒たちの英語という言葉やそれにまつわる文化に対する興味・関心や、英語に関連した研究意欲を向上させることができ、将来中学校・高等学校において中核的な役割を果たす英語科教員の養成にある。

▶文学研究科比較文化学専攻

中専免（社会）・高専免（地理歴史）

中専免（国語）・高専免（国語）

本大学院文学研究科比較文化学専攻は、「自文化についての十分な理解」および「異文化理解、異文化とのコミュニケーション」を通じて比較文化学研究を遂行する。比較文化学研究の基盤となる汎通性の高い学術領域である哲学・美学・思想・教育、歴史学、文学および社会科学の諸分野をふまえて横断的に学び、併せて日本文化を通文化的な視点からとらえ直すことができる本専攻での学びは、自国文化と他の文化の「あいだ」において知的に適切にふるまうことのできる学術的能力の獲得を可能とする。地理歴史の専修免履修者は自国文化についての諸研究と社会科学の手法を用いた比較文化の諸研究、社会科の専修免履修者はそれに加えて思想や宗教学を比較文化的に扱う専門的知識を修得し、それぞれ修士論文を通してそれらの知識を統合する術を研究実践によって獲得する。文学・思想研究と歴史研究を軸として、日本をはじめとする諸地域の個々の文化の

探究と、異文化理解の促進と深化を目指す本専攻が養成したいと考える力、すなわち自分自身の立ち位置を反省しつつ学術的知見を深めていった先に可能となる「他者への開かれ」を導くような知性は、社会科・地理歴史科の専修免取得者が今日備えておくべき教育力にもつながると考えられる。

また、文学研究科比較文化学専攻の前身である日本文化学専攻は、当時の学部のカリキュラムにおける「日本文化系」と「西洋文化・思想史」の上層に設置された課程であり、当初より日本文化の専門研究と関わりが深い。比較文化学的なアプローチによる日本文化研究を目指す課程として設置された本専攻は、その教育課題として、日本文化の深層構造の解明と異文化コミュニケーションの達成を掲げ、文化・思想・宗教・伝統・習俗・歴史・芸術その他の視点から、日本、東洋、西洋を比較研究することを通じて、現代人に求められる比較文化学的な思索と判断力の基礎的な研究の場を提供してきた。また日本文化についての十分な理解の涵養と、異文化理解、異文化コミュニケーションの深化を促進することを念頭に置き教育を行ってきた。本課程履修者は、「話す・聞く」、「書く」「読む」という言語活動に直結する力を養いながら総合的な国語力を培い、伝統的な言語文化に関わる事柄を含む教科「国語」に関する高度な専門的知識を学ぶとともに、教科「国語」に関わる事柄をテーマとした修士論文作成を進めることによって、国語を正確に理解し適切に表現する能力を育成し、伝える力、書く力を高めていくことができる。こうした学びを通じて養成されるのは、国語に対する深い認識と、国語を尊重する姿勢である。本課程ではこのように、国語科専修免許取得者に求められる総合的な資質開発を積極的に行いつつ、教育現場で要請される幅広い教養、汎用性と応用力を備えた指導力を育成し、より専門性の高い教科「国語」への教育力を有する人材を輩出することを目指している。

▶人間科学研究科人間科学専攻

中専免（理科）・高専免（理科）

本大学院人間科学研究科人間科学専攻では、人間の心や行動、身体、さらに人間をとりまく環境について専門的な教育研究活動を行っている。中学校・高等学校理科教員の養成に関わるのは、環境科学の分野である。学部ですでに中学校・高等学校一種免許を修得している院生は、2年間の大学院教育を通してより専門的な知見を深化させる。教職課程履修者は、本研究科の講義や実習を通して科学に関する高度な専門性を、修士論文の作成や学会発表を通して科学に関する高度な研究手法を修得する。以上の修得内容に基づき、理科教職課程の設置趣旨は、生徒の理科に対する興味・関心や科学に関連した研究意欲を向上させることができ、将来中学校・高等学校において中核的な役割を果たす理科教員の養成にある。

▶音楽研究科音楽芸術表現専攻

中専免（音楽）・高専免（音楽）

本大学院音楽研究科音楽芸術表現では器楽、声楽、作曲といった個々の専攻を設けず、有機的に「音楽芸術表現専攻」の一専攻とし、学生が各々の研究成果を持ち寄り交流し、刺激し、啓発しあうことを重視し、音楽を総合的に理解し把握する力を養うための組織や科目構成を行っている。学部で中学校、高等学校一種免許を修得している大学院生は、2年間の大学院教育を通じ、より専門的な実技レベルを高め、幅広く知見を深める。以上の修得内容に基づき、音楽教職課程の設置趣旨は、生徒の音楽に対する興味・関心、研究意欲を高め、音楽実技レベルを向上させ、中学校・高等学校において、より専門性の高い音楽科教員の養成にある。

第2号 教員の養成に係る組織及び教員の数、各教員が有する学位及び業績並びに各教員が担当する授業科目に関すること

●教員の養成に係る組織

学部（取得可能免許：中高一種免許状）

中学校 高等学校

国際学部	英語学科	英語	英語
文学部	英文学科	英語	英語
	総合文化学科	国語	国語
		社会	-
		-	地理歴史
-	-	公民	
音楽学部	音楽学科（舞踊専攻は除く）*	音楽	音楽
人間科学部	環境・バイオサイエンス学科	理科	理科

大学院（取得可能免許：中高専修免許状）

中学校 高等学校

文学研究科	英文学専攻	英語	英語
	比較文化学専攻	国語	国語
		社会	-
		-	地理歴史
音楽研究科	音楽芸術表現専攻	音楽	音楽
人間科学研究科	人間科学専攻	理科	理科

●教職課程運営組織（教職センター）

ディレクター	奥野 佐矢子（総合文化学科 教授）		
教員	■教科担当		
	[英語科]	白井 由美子（英語学科・英文学科 教授）	
	[国語科]	藏中 さやか（総合文化学科 教授）	
	[社会科]	河島 真（総合文化学科 教授）	
	[音楽科]	松浦 修（音楽学科 准教授）	
	[理科]	三宅 志穂（環境・バイオサイエンス学科 教授）	
職員	■教職担当		
	奥野 佐矢子（総合文化学科 教授）		
	蔭木 原洋（総合文化学科 特任教授）		
職員	教務課所属：1名、教職センター所属：2名		

●教職専任教員数

科目区分	学部・学科・専攻（教科）		専任教員数 （必要専任教員数）	
教科及び 教科の指導法 に関する科目	国際学部	英語学科	12 (3)	
	文学部	英文学科		13 (3)
		総合文化学科	(国 語)	3 (3)
			(社 会)	7 (4)
			(地理歴史)	4 (3)
		(公 民)	9 (3)	
	音楽学部	音楽学科	音楽表現専攻	7 (4)
			音楽キャリアデザイン専攻	
			器楽専攻	10 (3)
			声楽専攻	7 (3)
			ミュージック・クリエイション専攻	6 (3) R3年度以前入学生 7 (3) R4年度以降入学生
	人間科学部	環境・バイオサイエンス学科	8 (4)	
	文学研究科	英文学専攻		10 (3)
		比較文化学専攻	(国 語)	3 (3)
(社 会)			19 (4)	
	(地理歴史)	12 (3)		
音楽研究科	音楽芸術表現専攻	11 (3)		
人間科学研究科	人間科学専攻	7 (4)		
教育の 基礎的理解 に関する科目	全学部・大学院共通		2 (2)	

●教職専任教員の業績

[教育の特徴](#) > [教員一覧](#)

第3号 教員の養成に係る授業科目、授業科目ごとの授業の方法及び内容並びに年間の授業計画に関すること

●授業担当者・内容・方法及び年間の授業計画

[情報公開](#) > [教育課程](#) > [シラバス](#)

●教職課程科目一覧

教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目

各2単位計8単位をもって要求単位数を満たすものとする。

21000学生

教育職員免許法施行規則に定める科目	本学該当授業科目				
	授業科目番号	授業科目 (○は教職必修)	単位数		
			前	後	計
日本国憲法	SS136(1)(2)	○ 日本国憲法	2 or 2		2
体育	P103ab	○ 健康スポーツ科学 a、b	1	1	2
外国語コミュニケーション	GE100ab	○ Communication in English a、b	1	1	2
情報機器の操作	Sc184(1)(2) Sc185(2)	IT 基礎演習 } 2単位 IT 応用演習 } 選択必修	2 or 2		2

22000学生、23000学生

教育職員免許法施行規則に定める科目	本学該当授業科目				
	授業科目番号	授業科目 (○は教職必修)	単位数		
			前	後	計
日本国憲法	SS136(1)(2)	○ 日本国憲法	2 or 2		2
体育	P103ab	○ 健康スポーツ科学 a、b	1	1	2
外国語コミュニケーション	GE100ab	○ Communication in English a、b [英語コミュニケーション a、b]	1	1	2
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	Sc184(1)(2) Sc185(2)	IT 基礎演習 } 2単位 IT 応用演習 } 選択必修	2 or 2		2

24000学生

教育職員免許法施行規則に定める科目	本学該当授業科目				
	授業科目番号	授業科目 (○は教職必修)	単位数		
			前	後	計
日本国憲法	SS136(1)(2)	○ 日本国憲法	2 or 2		2
体育	P103ab	○ 健康スポーツ科学 a、b	1	1	2
外国語コミュニケーション	GE100ab	○ Communication in English a、b [英語コミュニケーション a、b]	1	1	2
	<英語学科> GE200ab	○ English Workshop a、b	1	1	
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	Sc184(1)(2) Sc185(2)	IT 基礎演習 } 2単位 IT 応用演習 } 選択必修	2 or 2		2

IV. 教育の基礎的理解に関する科目等

教育職員免許法施行規則で定められている「教育の基礎的理解に関する科目等」の必修科目及び本学においてそれに該当する授業科目は次の通りである。中学校28単位、高等学校24単位以上をもって要求単位数を満たすものとする。

21000学生

科目	教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		教育の基礎的理解に関する科目等											備考	
	各科目に含めることが必要な事項	授業科目番号	授業科目名(履修年次)	履修方法等	単位換算	英	高	社	地	公	国	理	音		高
第三種 教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	Ed301-1(1)	教育原理Ⅰ(3年)	「教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)」を含む。	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	中・高・高専 教職(1)(2)(3)
		Ed301-2(2)	教育原理Ⅱ(3年)		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	中・高・高専 教職(1)(2)(3)
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	Ed202(1)	教師論(2年)		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	中・高・高専 教職
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の課程	Ps242(1)	教育心理学(2年)		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	中・高・高専 教職
第四種 道徳・総合的な学習の時間等の指導方法及び生徒指導、教育相談に関する科目	道徳の理論及び指導法	Ed319(1)	道徳教育の指導法(3年)(注1)		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	中一・高専必修
	総合的な学習の時間の指導法	Ed387-1(1)	総合的な学習の時間・特別活動の指導法Ⅰ(3年)	「特別活動の指導法」を含む。	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	中・高・高専 教職
		Ed387-2(2)	総合的な学習の時間・特別活動の指導法Ⅱ(3年)		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	中・高・高専 教職
	特別活動の指導法	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	Ed260-1(1)	教育方法論Ⅰ(2年)		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	中・高・高専 教職
第五種 教育実践に関する科目	教育実習	Ed495-E	教育実習Ⅰ(英文学科)(4年)(注2)	(総合文化学科)(音楽学科)職(1)(1)(1)(2)年	5	5	3	5	3	5	3	5	3	5	中・高・高専 教職(1)(1)(1)(2)年 高専
		Ed495-I	教育実習Ⅱ(英文学科)(4年)(注2)	(総合文化学科)(音楽学科)職(1)(1)(1)(2)年	3										高専必修 教職(1)(1)(1)(2)年 高専
	教職実践演習	Ed404-E(2)	教職実践演習(中・高)(4年)	(総合文化学科)	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	中・高・高専 教職
		Ed404-I(2)		(総合文化学科)											
		Ed404-B(2)		(音楽学科)職(1)(1)(1)(2)年											
小計					28	24	28	24	24	28	24	28	24	28	24
合計					中学校28単位・高等学校24単位										

22000学生、23000学生、24000学生

科目	教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		教育の基礎的理解に関する科目等											備考	
	各科目に含めることが必要な事項	授業科目番号	授業科目名(履修年次)	履修方法等	単位換算	英	高	社	地	公	国	理	音		高
第三種 教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	Ed301-1(1)	教育原理Ⅰ(3年)	「教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)」を含む。	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	中・高・高専 教職(1)(2)(3)
		Ed301-2(2)	教育原理Ⅱ(3年)		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	中・高・高専 教職(1)(2)(3)
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	Ed202(1)	教師論(2年)		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	中・高・高専 教職
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の課程	Ps242(1)	教育心理学(2年)		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	中・高・高専 教職
第四種 道徳・総合的な学習の時間等の指導方法及び生徒指導、教育相談に関する科目	道徳の理論及び指導法	Ed319(1)	道徳教育の指導法(3年)(注1)		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	中一・高専必修
	総合的な学習の時間の指導法	Ed387-1(1)	総合的な学習の時間・特別活動の指導法Ⅰ(3年)	「特別活動の指導法」を含む。	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	中・高・高専 教職
		Ed387-2(2)	総合的な学習の時間・特別活動の指導法Ⅱ(3年)		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	中・高・高専 教職
	特別活動の指導法	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	Ed261-1(1)	教育方法論(情報通信技術の活用含む)Ⅰ(2年)	「情報通信技術を活用した教育の理論及び方法」を含む。	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	中・高・高専 教職
第五種 教育実践に関する科目	教育実習	Ed495-E	教育実習Ⅰ(英文学科)(4年)(注2)	(総合文化学科)(音楽学科)職(1)(1)(1)(2)年	5	5	3	5	3	5	3	5	3	5	中・高・高専 教職(1)(1)(1)(2)年 高専
		Ed495-I	教育実習Ⅱ(英文学科)(4年)(注2)	(総合文化学科)(音楽学科)職(1)(1)(1)(2)年	3										高専必修 教職(1)(1)(1)(2)年 高専
	教職実践演習	Ed404-E(2)	教職実践演習(中・高)(4年)	(総合文化学科)	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	中・高・高専 教職
		Ed404-I(2)		(総合文化学科)											
		Ed404-B(2)		(音楽学科)職(1)(1)(1)(2)年											
小計					28	24	28	24	24	28	24	28	24	28	24
合計					中学校28単位・高等学校24単位										

2. 総合文化学科

教科 学校種	教育職員免許法 施行規則に定める 科目区分等		本学該当授業科目					
	科目 区分	授業科目 番号	授業科目名 (○は教職必修 (選択必修含む))	単位数			必修 単位数	
				前	後	計		
社 中 一 種 会	教科 に 関 する 専 門 的 事 項	日本史・ 外国史	Hs222ab	○ 日本史 (I) a, b	2	2	4	16
			Hs202ab	○ 日本史 (II) a, b	2	2	4	
			Hs225ab	日本文化史 a, b	2	2	4	
			Hs319ab	○ ヨーロッパ社会史 (II) a, b	2	2	4	
			Hs342ab	アメリカ史 a, b	2	2	4	
			Hs331(1)	○ アジア史研究	2	2	2	
	Hs332(2)	○ 日本アジア関係史	2	2	2			
	各 教 科 の 指 導 法 (情 報 機 器 及 び 教 材 の 活 用 を 含 む。)(※注2)	G251ab	○ 地理学 a, b	2	2	4	6	
		G321(1)	日本地理学	2	2	2		
		G341(2)	外国地理学	2	2	2		
		G265(1)	○ 地誌学	2	2	2		
		SS331	○ 法学 (国際法を含む)	2	2	4		4
SS200ab		○ 社会学概論 a, b (SS200a 又は SS200b のどちらか 2 単位が教職必修)	2	2	4			
SS203ab	家族社会学 a, b	2	2	4				
SS386ab	社会病理学 a, b	2	2	4				
SS201-1ab	社会理論 a, b	2	2	4				
Hs411ab	社会思想史 a, b	2	2	4				
地 理 高 一 種 史	教科 に 関 する 専 門 的 事 項	哲学・ 倫理学・ 宗教学	Ph205ab	○ 哲学 (I) a, b	2	2	4	4
			Ph206ab	○ 哲学 (II) a, b	2	2	4	
			Ph235-1(1)	○ 倫理学 (I)	2	2	2	
			Ph235-2(2)	○ 倫理学 (II)	2	2	2	
			R243ab	○ 宗教学 a, b	2	2	4	
			Ph335-3(1)(2)	○ 倫理学 (III)	2 or 2	2	2	
	Ph335-4(2)	○ 倫理学 (IV)	2	2	2			
	R378ab	宗教学特講 a, b	2	2	4			
	各 教 科 の 指 導 法 (情 報 機 器 及 び 教 材 の 活 用 を 含 む。)(※注2)	Ed331-1(1)	○ 社会科教育法 I	2	2	2	8	
		Ed331-2(2)	○ 社会科教育法 II	2	2	2		
		Ed332(1)	○ 社会科・地理歴史科教育法	2	2	2		
		Ed368(1)	○ 社会科・公民科教育法	2	2	2		
Ed369(2)		地理歴史科教育法	2	2	2			
Ed370(2)		公民科教育法	2	2	2			
地 理 高 一 種 史	教科 に 関 する 専 門 的 事 項	日本史	Hs222ab	○ 日本史 (I) a, b	2	2	4	8
			Hs202ab	○ 日本史 (II) a, b	2	2	4	
			Hs208ab	歴史学入門 a, b	2	2	4	
			Hs225ab	日本文化史 a, b	2	2	4	
			Hs320ab	史料で探る日本の歴史 a, b	2	2	4	
			Hs385ab	日本美術史 a, b	2	2	4	
	外国史	Hs319ab	○ ヨーロッパ社会史 (II) a, b	2	2	4	8	
		Hs284ab	西洋美術史 a, b	2	2	4		
		Hs218ab	ヨーロッパ社会史 (I) a, b	2	2	4		
		Hs342ab	アメリカ史 a, b	2	2	4		
		Hs331(1)	○ アジア史研究	2	2	2		
		Hs332(2)	○ 日本アジア関係史	2	2	2		
人文地理 学・自然 地理学	G251ab	○ 地理学 a, b	2	2	4	8		
	G321(1)	○ 日本地理学	2	2	2			
	G341(2)	○ 外国地理学	2	2	2			
	SS358ab	文化人類学 a, b	2	2	4			
	As213(2)	現代アジア地域研究 (IV) (南アジア)	2	2	2			
	G265(1)	○ 地誌学	2	2	2			
各 教 科 の 指 導 法 (情 報 機 器 及 び 教 材 の 活 用 を 含 む。)(※注2)	Ed332(1)	○ 社会科・地理歴史科教育法	2	2	4	4		
	Ed369(2)	○ 地理歴史科教育法	2	2	2			

教科 学校種	教育職員免許法 施行規則に定める 科目区分等		本学該当授業科目						
	科目 区分	授業科目 番号	授業科目名 (○は教職必修 (選択必修含む))	単位数			必修 単位数		
				前	後	計			
公 高 一 種 民	教科 に 関 する 専 門 的 事 項	「法 律 学 (国 際 法 を 含 む。) 、 政 治 学 (国 際 政 治 を 含 む。)」	SS331	○ 法学 (国際法を含む)	2	2	4	6	
			SS337(1)	○ 政治学 (国際政治を含む)	2	2	4		
			SS266(2)	児童福祉学	2	2	2		6
			SS267	社会保障論	2	2	4		
			SS215(1)	社会調査計画	2	2	2		
			SS118(2)	社会調査入門	2	2	2		
	SS200ab	○ 社会学概論 a, b (SS200a 又は SS200b のどちらか 2 単位が教職必修)	2	2	4				
	SS203ab	家族社会学 a, b	2	2	4				
	SS228ab	○ 経済学 (国際経済を含む) a, b	2	2	4				
	SS386ab	社会病理学 a, b	2	2	4				
	SS201-1ab	社会理論 a, b	2	2	4				
	SS307ab	ジャーナリズム論 a, b	2	2	4				
Hs411ab	社会思想史 a, b	2	2	4					
各 教 科 の 指 導 法 (情 報 機 器 及 び 教 材 の 活 用 を 含 む。)(※注2)	Ed205(1)(2)	人間形成論	2 or 2	2	2	8			
	Hs315ab	近代日本思想史 a, b	2	2	4				
	Ph205ab	○ 哲学 (I) a, b	2	2	4				
	Ph206ab	○ 哲学 (II) a, b	2	2	4				
	Ph235-1(1)	○ 倫理学 (I)	2	2	2				
	Ph235-2(2)	○ 倫理学 (II)	2	2	2				
R243ab	○ 宗教学 a, b	2	2	4					
Ph335-3(1)(2)	○ 倫理学 (III)	2 or 2	2	2					
Ph335-4(2)	○ 倫理学 (IV)	2	2	2					
SS210-1(1)	メディア論	2	2	2					
SS210-2(2)	社会意識論	2	2	2					
R211ab	聖書学 (I) a, b	2	2	4					
R271ab	キリスト教思想史 a, b	2	2	4					
R251ab	現代キリスト教思想 a, b	2	2	4					
R352ab	宗教的人間論 a, b	2	2	4					
R378ab	宗教学特講 a, b	2	2	4					
各 教 科 の 指 導 法 (情 報 機 器 及 び 教 材 の 活 用 を 含 む。)(※注2)	Ed368(1)	○ 社会科・公民科教育法	2	2	4	4			
	Ed370(2)	○ 公民科教育法	2	2	2				

教 学 科 種	教育職員免許法 施行規則に定める 科目区分等		本学該当授業科目										
	科目 区分	各科目に 含めること が必要な事項	授業科目 番号	授業科目名 (○は教職必修 (選択必修含む))	単位数			必修 単位数					
					前	後	計						
国 語	専 門 的 事 項	国 語 学 (音 声 言 語 及 び 文 章 表 現 に 関 する も の を 含 む。)	J106(1)(2)	○ 日本語表現法	2	or	2	2	6				
			J109-1(1)	○ 日本語学入門 (I)	2		2						
			J109-2(2)	○ 日本語学入門 (II)	2		2						
			J208-1(1)	○ 日本語学総論 (I)	2		2						
			J208-2(2)	○ 日本語学総論 (II)	2		2						
			J218(2)	○ 日本語学特論	2		2						
			J275-1(1)	○ 社会言語学 (I)	2		2						
			J275-2(2)	○ 社会言語学 (II)	2		2						
			J373-1(1)	○ 日本語学研究 (I)	2		2						
			J373-2(2)	○ 日本語学研究 (II)	2		2						
			J373-3(1)	○ 日本語学研究 (III)	2		2						
			J373-4(2)	○ 日本語学研究 (IV)	2		2						
			J473-5(1)	○ 日本語学研究 (V)	2		2						
			国 語	専 門 的 事 項	国 語 学 (音 声 言 語 及 び 文 章 表 現 に 関 する も の を 含 む。)	Hs287-1(1)	○ 日本芸能史 (I)	2			2	12	
						Hs287-2(2)	○ 日本芸能史 (II)	2			2		
						J225(2)	○ 日本文学概論 (I)	2			2		
J226(1)	○ 日本文学概論 (II)	2					2						
J252-1(1)	○ 日本古典文学研究 (I)	2					2						
J252-2(1)(2)	○ 日本古典文学研究 (II)	2					or	2					
J250-1(1)(2)	○ 日本近現代文学研究 (I)	2					or	2					
J250-2(2)	○ 日本近現代文学研究 (II)	2					2						
J315-1(1)(2)	○ 日本古典文学講読 (I)	2					or	2					
J315-2(2)	○ 日本古典文学講読 (II)	2					2						
J316-1(1)	○ 日本近現代文学講読 (I)	2					2						
J316-2(1)(2)	○ 日本近現代文学講読 (II)	2					or	2					
J355(1)	○ 日本文学史 (I)	2					2						
J356(2)	○ 日本文学史 (II)	2					2						
J380-1(1)	○ 日本文化・文学研究 (I)	2					2						
J380-2(2)	○ 日本文化・文学研究 (II)	2					2						
J380-3(1)	○ 日本文化・文学研究 (III)	2		2									
J380-4(2)	○ 日本文化・文学研究 (IV)	2		2									
国 語	専 門 的 事 項	漢 文 学	Cu214-1(1)	○ アジア文化・文学入門 (I)	2		2	2					
			Cu214-2(2)	○ アジア文化・文学入門 (II)	2		2						
			As204(1)	○ アジア文化・文学セミナー (漢文学)	2		2						
			As300(2)	○ アジア文化・文学論	2		2						
国 語	専 門 的 事 項	書 道 (書 写 を 中 心 と す。)	J388(1)	○ 書道・書道史	2		2	2					
国 語	専 門 的 事 項	各 教 科 の 指 導 法 (情 報 機 器 及 び 教 材 の 活 用 を 含 む。)(※注2)	Ed339-1(1)	○ 国語科教育法 I	2		2	8					
			Ed339-2(2)	○ 国語科教育法 II	2		2						
			Ed339-3(2)	○ 国語科教育法 III	2		2						
			Ed339-4(1)	○ 国語科教育法 IV	2		2						

教 学 科 種	教育職員免許法 施行規則に定める 科目区分等		本学該当授業科目										
	科目 区分	各科目に 含めること が必要な事項	授業科目 番号	授業科目名 (○は教職必修 (選択必修含む))	単位数			必修 単位数					
					前	後	計						
国 語	専 門 的 事 項	国 語 学 (音 声 言 語 及 び 文 章 表 現 に 関 する も の を 含 む。)	J106(1)(2)	○ 日本語表現法	2	or	2	6					
			J109-1(1)	○ 日本語学入門 (I)	2		2						
			J109-2(2)	○ 日本語学入門 (II)	2		2						
			J208-1(1)	○ 日本語学総論 (I)	2		2						
			J208-2(2)	○ 日本語学総論 (II)	2		2						
			J218(2)	○ 日本語学特論	2		2						
			J275-1(1)	○ 社会言語学 (I)	2		2						
			J275-2(2)	○ 社会言語学 (II)	2		2						
			J373-1(1)	○ 日本語学研究 (I)	2		2						
			J373-2(2)	○ 日本語学研究 (II)	2		2						
			J373-3(1)	○ 日本語学研究 (III)	2		2						
			J373-4(2)	○ 日本語学研究 (IV)	2		2						
			J473-5(1)	○ 日本語学研究 (V)	2		2						
			国 語	専 門 的 事 項	国 語 学 (音 声 言 語 及 び 文 章 表 現 に 関 する も の を 含 む。)	Hs287-1(1)	○ 日本芸能史 (I)		2		2	12	
						Hs287-2(2)	○ 日本芸能史 (II)		2		2		
						J225(2)	○ 日本文学概論 (I)		2		2		
J226(1)	○ 日本文学概論 (II)	2					2						
J252-1(1)	○ 日本古典文学研究 (I)	2					2						
J252-2(1)(2)	○ 日本古典文学研究 (II)	2					or	2					
J250-1(1)(2)	○ 日本近現代文学研究 (I)	2					or	2					
J250-2(2)	○ 日本近現代文学研究 (II)	2					2						
J315-1(1)(2)	○ 日本古典文学講読 (I)	2					or	2					
J315-2(2)	○ 日本古典文学講読 (II)	2					2						
J316-1(1)	○ 日本近現代文学講読 (I)	2					2						
J316-2(1)(2)	○ 日本近現代文学講読 (II)	2					or	2					
J315-2(2)	○ 日本古典文学講読 (II)	2					2						
J316-1(1)	○ 日本近現代文学講読 (I)	2					2						
J316-2(1)(2)	○ 日本近現代文学講読 (II)	2					or	2					
J355(1)	○ 日本文学史 (I)	2					2						
J356(2)	○ 日本文学史 (II)	2		2									
J380-1(1)	○ 日本文化・文学研究 (I)	2		2									
J380-2(2)	○ 日本文化・文学研究 (II)	2		2									
J380-3(1)	○ 日本文化・文学研究 (III)	2		2									
J380-4(2)	○ 日本文化・文学研究 (IV)	2		2									
国 語	専 門 的 事 項	漢 文 学	As204(1)	○ アジア文化・文学セミナー (漢文学)	2		2	2					
			As300(2)	○ アジア文化・文学論	2		2						
国 語	専 門 的 事 項	各 教 科 の 指 導 法 (情 報 機 器 及 び 教 材 の 活 用 を 含 む。)(※注2)	Ed339-1(1)	○ 国語科教育法 I	2		2	4					
			Ed339-2(2)	○ 国語科教育法 II	2		2						
			Ed339-3(2)	○ 国語科教育法 III	2		2						
			Ed339-4(1)	○ 国語科教育法 IV	2		2						

<音楽表現専攻> <音楽キャリアデザイン専攻>

24000学生

教科	学校種	教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		本学該当授業科目											
		科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目番号	授業科目名(○は教職必修(選択必修含む))	単位数			必修単位数						
						前	後	計							
音楽	専攻	音楽表現専攻	ソルフェージュ	M102ab	○ソルフェージュⅠ a、b	1	1	2	2						
			声乐(合唱及び日本の伝統的な歌唱を含む。)	M165 M167 M148ab	○専門実技(声乐)Ⅰ(声乐専修生) ○副科実技(声乐)(声乐専修生以外) ○合唱Ⅰ(日本の伝統的な歌唱を含む) a、b	3	3	6	8	2	or	4			
			器楽(合奏及び伴奏並びに和楽器を含む。)	M151 M153 M343ab M383(1)(2)	○専門実技(ピアノ)Ⅰ(ピアノ専修生) ○副科実技(ピアノ)(ピアノ専修生以外) ○伴奏法 a、b ○合奏(和楽器を含む)	3	3	6	9	1	1	2	5	1	1
			指揮法	M347-1(1)(2)	○指揮法基礎	2	or	2	2	2	2				
			音楽理論・作曲法(編曲を含む。)	M222-1ab M322-1ab M106-1ab M206-1ab	○音楽史Ⅰ(諸民族の音楽を含む) a、b ○音楽史Ⅱ(諸民族の音楽を含む) a、b ○音楽理論Ⅰ a、b ○音楽理論Ⅱ a、b	2	2	4	24	2	2	4	or	20	
			音楽史(日本の伝統音楽及び諸民族の音楽を含む。)	M220-1(2) M377 M171-1	○日本伝統音楽と民族音楽 ○教職作曲(ミュージック・クリエイション専修生以外) ○専門実技(創作)Ⅰ(ミュージック・クリエイション専修生)	2	2	2	1	1	2	3	3	6	
			各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	Ed333-1(1) Ed333-2(1) Ed333-3(2) Ed333-4(2)	○音楽科教育法Ⅰ ○音楽科教育法Ⅱ ○音楽科教育法Ⅲ ○音楽科教育法Ⅳ	2	2	2	8	2	2	or	4	2	2
					中一種8単位、高一種4単位必修(※注)										

4. 環境・バイオサイエンス学科

21000、22000、23000学生

教科	学校種	教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		本学該当授業科目											
		科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目番号	授業科目名(○は教職必修(選択必修含む))	単位数			必修単位数						
						前	後	計							
理	中	環境・バイオサイエンス	物理学	Sc213(1)	○物理学概論	2	2	2	2						
			物理学実験(コンピュータ活用を含む。)	Sc211(2)	○物理学実習(講義を含む)	2	2	2	2						
			化学	Sc122-1(2) Sc161(2) Sc297(2) Sc378(1) Sc343(1) Sc324(1) Sc332(2)	○化学概論 生物有機化学 食品分子機能科学(※注3) 細胞生化学(※注3) 生化学(※注4) 生薬生化学 生物反応速度論	2	2	2	4	2	2	2	2	2	2
					2単位選択必修										
			化学実験(コンピュータ活用を含む。)	ES119(1)(2) Sc178(1)(2)	環境科学基礎実習(講義を含む) バイオサイエンス基礎実習(講義を含む)	2	or	2	2	2	2	2	2	2	
					2単位選択必修										
			生物学	Sc138-1(2) Sc131(1)(2) Sc132(2) Sc152(1) Sc160(2) HE253(2) Sc234(2) Sc236(1) Sc241ab Sc374(1) Sc377(2) Sc444(1)	○生物学概論 自然観察入門 生物の適応と進化 地球生物圏の科学 生命科学概論 栄養生理学 植物生態学 動物生態学 人体の構造と機能 a、b バイオテクノロジー概論 病気の細胞生物学 健康医学	2	2	2	4	2	or	2	2	2	2
					2単位選択必修										
			生物学実験(コンピュータ活用を含む。)	Sc267(1)(2) Sc273(1)(2) Sc370(1) Sc379(2)	○生命の科学実習(講義を含む) 微生物学実習(講義を含む) ○生態学実習Ⅰ(講義を含む) 生態学実習Ⅱ(講義を含む)	2	or	2	2	2	2	2	2	4	
			地学	Sc353(1)	○地学概論	2	2	2	2						
			地学実験(コンピュータ活用を含む。)	Sc358(2)	○地学実習(講義を含む)	2	2	2	2						
			各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)(※注2)	Ed336-1(1) Ed336-2(2) Ed336-3(1) Ed336-4(2)	○理科教育法Ⅰ ○理科教育法Ⅱ ○理科教育法Ⅲ ○理科教育法Ⅳ	2	2	2	8	2	2	2	2	2	
					8単位必修(※注1)										

21000、22000、23000学生

教 科 種 別	教育職員免許法 施行規則に定める 科目区分等	本 学 該 当 授 業 科 目					必修 単位数			
		科目 区分	授業科目 番 号	授業科目名 (○は教職必修 (選択必修含む))	単位数					
					前	後		計		
理 高 一 種 的 事 項	物理学	Sc213(1)	○ 物理学概論	2	2	2				
	化学	Sc122-1(2)	○ 化学概論 生物有機化学 食品分子機能科学 (※注3) 細胞生化学 (※注3) 生化学 (※注4) 生態毒性学 生物反応速度論	} 2 単位選択必修	2	2	4			
		Sc161(2)			2	2				
		Sc297(2)			2	2				
		Sc378(1)			2	2				
		Sc343(1)			2	2				
		Sc324(1)			2	2				
	生物学	Sc138-1(2)	○ 生物学概論 自然観察入門 生物の適応と進化 地球生物圏の科学 生命科学概論 栄養生理学 植物生態学 動物生態学 人体の構造と機能 a、b バイオテクノロジー概論 病気の細胞生物学 健康医学	} 2 単位選択必修	2	2	4			
		Sc131(1)(2)			2 or 2	2				
		Sc132(2)			2	2				
Sc152(1)		2			2					
Sc160(2)		2			2					
HE253(2)		2			2					
Sc236(1)	2	2								
Sc241ab	2	2	4							
Sc374(1)	2	2								
Sc377(2)	2	2								
Sc444(1)	2	2								
地学	Sc353(1)	○ 地学概論	2	2	2					
[物理学実験 (コンピュータ 活用を含む)、 化学実験 (コ ンピュータ活 用を含む)、 生物学実験 (コンピュータ 活用を含む)、 地学実験 (コ ンピュータ活 用を含む)]	Sc211(2)	○ 物理学実習 (講義を含む) ○ 地学実習 (講義を含む) 環境科学基礎実習 (講義を含む) バイオサイエンス基礎実習 (講義を含む) 生命の科学実習 (講義を含む)* 微生物学実習 (講義を含む) 生態学実習 I (講義を含む)* 生態学実習 II (講義を含む) * Sc267(1)(2)生命の科学実習と Sc370(1)生態学実習 I は、合わせ て 2 科目 4 単位を履修するものとし、一方だけの履修は認めない。	} 6 単位選択必修	2	2	10				
	Sc358(2)			2	2					
	ES119(1)(2)			2 or 2	2					
	Sc178(1)(2)			2 or 2	2					
	Sc267(1)(2)			2 or 2	2					
	Sc273(1)(2)			2 or 2	2					
	Sc370(1)			2	2					
	Sc379(2)			2	2					
	各教科の指導法 (情報機器及び 教材の活用を含 む。) (※注 2)			Ed336-1(1)	○ 理科教育法 I ○ 理科教育法 II 理科教育法 III 理科教育法 IV	} 4 単位必修 (※注 1)	2	2	4	
				Ed336-2(2)			2	2		
Ed336-3(1)		2	2							
Ed336-4(2)		2	2							

教 科 種 別	教育職員免許法 施行規則に定める 科目区分等	本 学 該 当 授 業 科 目					必修 単位数			
		科目 区分	授業科目 番 号	授業科目名 (○は教職必修 (選択必修含む))	単位数					
					前	後		計		
理 中 一 種 的 事 項	物理学	Sc213(1)	○ 物理学概論	2	2	2				
	化学	Sc122-1(2)	○ 化学概論 生物有機化学 生化学 生態毒性学	} 2 単位選択必修	2	2	4			
		Sc161(2)			2	2				
		Sc343(1)			2	2				
		Sc324(1)			2	2				
	生物学	Sc138-1(2)	○ 生物学概論 自然観察入門 生物の適応と進化 地球生物圏の科学 栄養生理学 植物生態学 動物生態学 人体の構造と機能 a、b 病気の細胞生物学 健康医学	} 2 単位選択必修	2	2	4			
		Sc131(1)(2)			2 or 2	2				
		Sc132(2)			2	2				
		Sc152(1)			2	2				
		HE253(2)			2	2				
Sc234(2)		2			2					
Sc236(1)		2			2					
Sc241ab		2			2	4				
Sc377(2)	2	2								
Sc444(1)	2	2								
地学	Sc353(1)	○ 地学概論	2	2	2					
[物理学実験・化学 実験・生物 学実験・地学 実験]	Sc211(2)	○ 物理学実習 (講義を含む) 環境科学基礎実習 (講義を含む) 生命科学基礎実習 (講義を含む) ○ 生命の科学実習 (講義を含む) 生態学実習 I (講義を含む) 生態学実習 II (講義を含む) ○ 地学実習 (講義を含む)	} 2 単位選択必修	2	2	10				
	ES119(1)(2)			2 or 2	2					
	Sc167(1)(2)			2 or 2	2					
	Sc267(1)(2)			2 or 2	2					
	Sc370(1)			2	2					
	Sc379(2)			2	2					
	Sc358(2)			2	2					
	各教科の指導法 (情報通信技術 の活用を含む。)			Ed336-1(1)	○ 理科教育法 I ○ 理科教育法 II 理科教育法 III 理科教育法 IV	} 8 単位必修 (※注)	2	2	8	
				Ed336-2(2)			2	2		
				Ed336-3(1)			2	2		
Ed336-4(2)		2	2							
理 高 一 種 的 事 項	物理学	Sc213(1)	○ 物理学概論	2	2	2				
	化学	Sc122-1(2)	○ 化学概論 生物有機化学 生化学 生態毒性学	} 2 単位選択必修	2	2	4			
		Sc161(2)			2	2				
		Sc343(1)			2	2				
		Sc324(1)			2	2				
	生物学	Sc138-1(2)	○ 生物学概論 自然観察入門 生物の適応と進化 地球生物圏の科学 栄養生理学 植物生態学 動物生態学 人体の構造と機能 a、b 病気の細胞生物学 健康医学	} 2 単位選択必修	2	2	4			
		Sc131(1)(2)			2 or 2	2				
		Sc132(2)			2	2				
		Sc152(1)			2	2				
		HE253(2)			2	2				
Sc234(2)		2			2					
Sc236(1)	2	2								
Sc241ab	2	2	4							
Sc377(2)	2	2								
Sc444(1)	2	2								
地学	Sc353(1)	○ 地学概論	2	2	2					
[物 理 学 実 験、化 学 実 験、生 物 学 実 験、地 学 実 験]	Sc211(2)	○ 物理学実習 (講義を含む) ○ 地学実習 (講義を含む) 環境科学基礎実習 (講義を含む) 生命科学基礎実習 (講義を含む) 生命の科学実習 (講義を含む)* 生態学実習 I (講義を含む)* 生態学実習 II (講義を含む) * Sc267(1)(2)生命の科学実習と Sc370(1)生態学実習 I は、合わせ て 2 科目 4 単位を履修するものとし、一方だけの履修は認めない。	} 6 単位選択必修	2	2	10				
	Sc358(2)			2	2					
	ES119(1)(2)			2 or 2	2					
	Sc167(1)(2)			2 or 2	2					
	Sc267(1)(2)			2 or 2	2					
	Sc370(1)			2	2					
	Sc379(2)			2	2					
	各教科の指導法 (情報通信技術 の活用を含む。)			Ed336-1(1)	○ 理科教育法 I ○ 理科教育法 II 理科教育法 III 理科教育法 IV	} 4 単位必修 (※注)	2	2	4	
				Ed336-2(2)			2	2		
				Ed336-3(1)			2	2		
Ed336-4(2)		2	2							

第4号 卒業者の教員免許状の取得の状況に関すること

●教員免許状取得者数（※個人申請は含まない）

大学	学部・研究科	学科・専攻	教科	2023		2022		2021		2020		2019		
				中学校 一種免許状	高等学校 一種免許状									
大学	文学部	英文学科	英語	13	13	12	13	5	6	5	5	10	10	
			社会	6		5		2		2		5		
		総合文化学科	地理歴史		6		3		3		2		5	
			公民		5		2		2		2		5	
			国語	5	5	7	6	6	6	4	4	3	3	
	音楽学部	音楽学科	音楽	7	7	19	20	4	5	12	13	17	17	
人間科学部	環境・バイオサイエンス学科	理科	5	7	7	7	3	3	4	3	6	7		

大学院	学部・研究科	学科・専攻	教科	2023		2022		2021		2020		2019		
				中学校 専修免許状	高等学校 専修免許状									
大学院	文学研究科	英文学専攻	英語	0	0	0	0	0	0	2	2	1	1	
			社会	0		0		0		0		0		
		比較文化学専攻	地理歴史		0		0		0		0		0	
			国語	0	0	1	1	0	0	2	2	1	1	
	音楽研究科	音楽芸術表現専攻	音楽	2	2	4	4	5	5	3	3	1	1	
人間科学研究科	人間科学専攻	理科	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0		

第5号 卒業者の教員への就職の状況に関すること

●教員への就職状況（2023年度）

教員への就職状況	
教諭	常勤講師・臨時任用教員
7名	6名

※1) 現役生のみ

※2) 非常勤講師は含まない

●教員採用試験合格実績／現役生（2023年度）

試験	校種	教科	人数
兵庫県	高等学校	英語	1名
兵庫県	中学校	音楽	1名
神戸市	中学校・高等学校	理科	1名
大阪府	小中連携	音楽	1名
大阪府	中学校	英語	1名
堺市	中学校	英語	1名
香川県	中学校	英語	1名
福岡県	中学校	国語	1名
横浜市	高等学校	英語	1名
横浜市	中学校	理科	1名

●教員採用試験合格実績／卒業生（2023年度）

試験	校種	教科	人数
兵庫県	中学校	音楽	1名
神戸市	中学校・高等学校	英語	1名
堺市	中学校	英語	1名
岡山県	中学校	英語	1名

●常勤講師採用実績／現役生（2023年度）

試験	校種	教科	人数
神戸市	小学校	音楽	1名
明石市	中学校	理科	1名
私立（大阪府）	中学校・高等学校	国語	1名
私立（香川県）	中学校・高等学校	理科	1名
私立（静岡県）	高等学校	英語	1名
私立（静岡県）	中学校・高等学校	国語	1名

第6号 教員の養成に係る教育の質の向上に係る取組に関すること

●教職センターについて

[大学紹介](#) > [附属機関](#) > [教職センター](#)

●教員採用試験特別対策講座について

[附属機関](#) > [教職センター](#) > [教員採用試験特別対策講座](#)

●学校ボランティアについて

[附属機関](#) > [教職センター](#) > [学校ボランティア](#)